



いぶすき 市議会だより

指宿市サッカー場・多目的グラウンド
整備事業に関する意見交換会



【目次】

- 〈特集〉市内5団体との意見交換会 P 2～P 3
- 議会と語ろかいの詳細報告 P 4～P 9
- 審議された主なことから P 10
- 委員会審査報告 P 11～P 13
- 10人の議員が一般質問 P 14～P 19
- 議会中継のインターネット配信 P 19
- 所管事務調査報告 P 20～P 22
- 公共施設の在り方調査研究特別委員会
中間報告・所管事務調査報告 P 23
- 議案・請願等審議結果 P 24

特 集

市内5団体
＋
市議会

ご参加ありがとうございました。

議会と語るかい



市内5会場で開催しました。

指宿市議会では、指宿市議会基本条例に基づき、4月24日・26日に市内5中学校区で、議会と語るかい（議会報告会）を開催しました。

概要については、前号（議会だより第51号）で紹介しましたが、今回は、皆さんからいただいたたくさんの意見や質問をできる限り紹介します。

なお、いただいた質問に対しては、可能な限り回答するように心掛けていますが、事業等によっては計画中のものもあり、現段階で回答できない部分もありますのでご理解ください。

※誌面の都合上、いただいた意見や質問を全て掲載することはできませんでしたので、詳細については、ホームページ、議会事務局および山川・開聞支所地域振興課で閲覧できます。

サッカー場整備について

問 多目的グラウンドの使用について、どこまで使えるのか。

答 多目的グラウンドは、グラウンドゴルフなどの軽スポーツをはじめ、遠足等の教育活動、スポーツ療育等の福祉活動およびイベントなど、さまざまな分野で利用できる施設を目指しているようです。

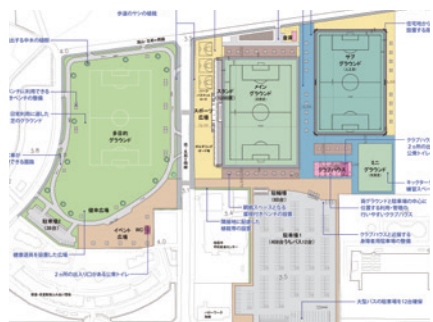
問 県内のサッカー人口はどれくらいいるか。サッカー人口の推移はどうか。

答 鹿児島県サッカー協会によると、平成27年度は1万6150人の選手が、同協会に登録されています。登録選手数は、平成20年以降、おおむね1万6千人台で推移しています。

問 サッカー場は、プロが年何回使用するのか。プロの誘致は、誰が積極的にするのか。

答 市が計画しているサッカー場は、プロのスタジアム基準に沿ったものではない

ため、公式戦を行うことはできませんが、1チームが春季キャンプで利用する期間は2週間程度です。現在は合宿や大会誘致、施設のPR等を民間と行政が連携して専門的に行うスポーツコミッションという組織の設置に向け準備をしており、プロ・アマを問わず、合宿や大会の誘致に積極的に取り組むとしています。



指宿市サッカー・多目的グラウンド 基本計画(概要案)から

問 他の自治体も造っているものを、なぜ多額の予算を掛けて整備しなければならぬのか。

答 市では、次世代を担う子どもたちの健全育成、健康のまちづくりの推進、そして、サッカーによる経済・観光の活性化と地域振興の

3つを目的に、サッカー・多目的グラウンドの整備を目指しています。子どもたちの健全育成と市民の健康増進に役立てるよう、サッカーの枠を超えて、さまざまな軽スポーツ、教育活動、福祉活動、イベント等でも利用できる施設の整備を目指しています。また、3面のグラウンドを整備した場

合、大会や合宿等の誘致によって、飲食や宿泊等で、経済波及効果があると試算しています。

問 県内の他の市町村でもサッカー場建設予定があるということだが、新設は幾つあるのか。

答 建設新聞を含め、新聞等での報道で把握している新設は日置市の1カ所、人工芝グラウンド2面の整備が計画されています。

問 天然芝、人工芝は、何年使用可能なのか。

答 天然芝、人工芝共に、一般的には10年程度で全面の張り替えが必要と言われています。

問 現在運営中のグラウンドの運営状況は、どうなっているのか。

答 市内には、サッカーができる芝生のグラウンドとして、ヘルシーランドの多目的広場と陸上競技場があります。ヘルシーランドは、(株)セイカスポーツセンターが指定管理者として管理運営を行っています。平成28年度の延べ利用者数は、7620人で、その内訳は、グラウンドゴルフ利用者が3788人、サッカー利用者が3662人、その他利用者が170人です。

問 グラウンド予定地に個人所有の土地があると聞いたが、購入整備できるのか。

答 用地確保ができていない

土地が1筆ありますが、購入に向けて手続き中とのことです。

問 サッカー場は、誰が使うためのものか。

答 市民の皆さまはもちろん、プロ、アマを問わず、市内外の多くのチーム、関係者の方々にも利用していただけるサッカー・多目的グラウンドの整備を目指しているようです。

問 維持費は幾らの想定か。

答 メイングラウンド700万円、サブグラウンド50万円、クラブハウス・その他400万円、人件費700万円、合計1850万円という計画になっているようです。

問 予算は承認されたのに、反対陳情が採択となった理由を知りたい。整備規模が問題とのことであるが、どの程度の規模が理想なのか。

答 審議の結果、市民のためのサッカー場は必要であるが、内容・規模等については再検討すべきという多数

意思となったところです。

問 合併特例債は、何年で返すのか。

答 耐用年数や後年度の負担を考慮して、20年を予定しているようです。

問 合併特例債は有利な起債と聞いているが、実質的な負担は幾らになるのか。

答 基本構想段階での総事業費約24億7600万円ペースで換算した場合、建設年度の2年間で約1億2700万円、その後20年間は、毎年約3350万円の償還金で約6億7000万円、合わせて約7億9700万円となります(合併特例債は事業費の95%を借り入れることができ、返済額の70%が交付税措置されるので、国の負担が約3分の2、残りの約3分の1が市の負担となります)。



問 サッカー場を新設して、イベント等の際の駐車場はどうなるのか。

答 サッカー場建設に伴い、駐車場の整備も行い、これまで以上に利便性が良くなる計画となっているようです。

問 5千人以上の署名を添えた陳情を不採択としたが、何人ぐらいの署名があれば採択するのか。

答 今回の署名は、議会として真摯に受け止めています。規定は特にありません。

新交通体系構築事業について

問 目的は何か。バスの回数を増やすのか。路線を新たに設けるのか。

答 今後、高齢化がますます進むため、イッシーバスの見直し等を国の補助金を使って、コンサルタントに依頼し、市民の利便性を考え、どのような形態が望ましいのか調査・研究してもらう事業です。

75

問 イッシーバスの利用は、今どれぐらいあるのか。走っているバスに空席が多いようだが。

答 28年度は延べ2万2278人、1便当たり平均8・9人の利用がありました。



運行の見直しが計画されているイッシーバス

問 定住自立圏形成方針とは何か。

答 今後、特に地方においては、大幅な人口減少と急速な少子高齢化が見込まれています。このような状況を踏まえ、市町村の主体的取り組みとして、都市機能と農林水産業、自然環境、歴史、文化など、それぞれの魅力を活用して、NPOや企業といった民間の担い手を含め、相互に役割分担し、連携・協力することにより、

地域住民のいのちと暮らしを守るため、圏域全体で必要な生活機能を確保し、地方圏への人口定住を促進する政策です。

新ごみ処理施設およびごみ減量化について

問 生ごみがなかなか減らないように聞けるが、どうなっているのか。

答 ごみ処理場へ搬入される燃えるごみを見てみると、約20%は生ごみであるようです。生ごみの約70%は水分といわれていますので、焼却炉の延命のためには、生ごみの減量は必要不可欠と言えます。

そこで市では、生ごみを少しでも減らすため、生ごみを堆肥化したり、乾燥させたりする「生ごみ処理機器」の購入補助や、食べ残しを減らす取り組みである「30・10（さんまる・いちまる）運動」の推進などを行っています。

問 ホテルのごみは、どうなっているのか。

答 ホテルに限らず、事業所のごみは「事業所自ら処分しなければならぬ」となっており、それぞれ収集運搬許可業者等に委託して、指宿広域クリーンセンターを含む各ごみ処理施設で処理されています。

問 迂回路が狭い（新ごみ処理場に至る道路）。

答 基本的には、開聞・穎娃方面から指宿広域クリーンセンターへ行く場合は安全面を考慮し、JR山川駅前を經由し、指宿医療センター先の交差点を左折するルートが望まれます。

また、市道首尾坂線も指宿広域クリーンセンターに至るアクセス道路の一つであります。質問のように狭くてカーブも多いため、安全対策工事を指宿広域市

町村圏組合が平成28年度に実施しています。

問 なぜ、燃えるごみが1日に60t出るのが分かっていないのに、54tの焼却炉を造ったのか。

答 国からの補助金をもらうためには、ごみ減量化の基本計画を作成し、取り組まなければなりません。今回の処理能力は、ごみ減量化の基本計画に沿ったものです。

問 ごみを燃やしたり、止めたりする際に生じる温度差で、炉が傷むのではないかと。

答 新ごみ処理施設は、16時間運転で設計されています。レンガの耐火については温度の変化を想定しており、問題は無いと聞いています。

問 今後のごみ減量化への具体案は、どのようなものがあるか。

答 市としては、生ごみの水分をひと絞って減らすことや、現在の生ごみ処理機器購入補助の利用促進を図りながら、さらに市民と協

働でごみの減量化に取り組んでいきたいとしています。



生ごみ回収モデル事業

指宿総合体育館大規模改修事業について

問 総合体育館は、建て替えの方が良かったのではないかと。

答 指宿総合体育館は、老朽化と併せて平成32年「かごしま国体」のバドミントン競技会場となることから、国体施設基準を満たすよう、平成29年度に大規模改修工事を予定していました。

しかし、平成28年9月に本市を襲った台風16号により、屋根2カ所に大きな穴が開くなど甚大な被害を受けたことから、新築（建て替え）についても検討しました。

結果、新築するには現在地以外にふさわしい場所がないこと、現在地に建て替

えるとすれば利用できない期間が約3年半に及ぶこと、改修工事と比較すると約2倍の費用が掛かること等の理由から、大規模改修が望ましいと判断しました。

新潟口雨水ポンプ場について

問 津波等の対応は万全なのか。

答 東日本大震災における津波被害を鑑み、発生が予想される南海トラフ地震による津波高を考慮し、津波に對し機械・電気設備等の重要設備が機能停止しない高さに設置されています。



新潟口雨水ポンプ場

その他

問 防災行政無線は、台風の

なか聞き取れないことが多
いので、有線放送も併せて
実施できないか。

答 市では、確実に防災行政
無線からの情報を市民に提
供するため、平成28年度に
山川地域および開聞地域、
平成29年度に指宿地域にお
いて、防災ラジオ（戸別受
信機）の送信施設の整備を
進めています。市民の皆さ
まには防災ラジオを購入し
ていただくことにより、防
災や行政情報を確実に取得
できるものと期待していま
す。

問 現在、旧指宿市焼却炉解
体工事が施工されている。
鹿児島市内の業者が落札し
たが、地元の建設会社がJ
V（共同企業体）を組んで
入札参加することはできな
かったのか。できるだけ地
元の建設会社が、入札に参
加できるようにしてもらい
たい。なぜこの入札は、J
Vを組んで参加したらいい
なかったのか。

答 今回の焼却施設の解体工
事は、指宿広域市町村圏組
合において実施しています

が、解体後に敷地造成工事
を行い、跡地にストックヤ
ードの建設や駐車場の整備
を平成29年度中に終える必
要があるところです。

そのため、1日でも早く
工事に着手する必要がある
ことから、JVでの一括
発注方式とはせずに、焼却
施設は解体実績のある事業
者に、管理棟は指宿市内の
建設業者に分割発注するこ
とで、地元経済浮揚策を講
じたところです。

また、焼却炉の解体撤去
工事においても、地元業者
の活用に努めるよう仕様書
に明記しているとのこと
です。

問 地熱の事業は、どうなっ
たのか。

答 現在は、凍結された状態
です。

問 学校再編の検討が、開聞・

山川に施設一体型小中一貫
校の新設だけになっている
のはなぜか。

答 指宿市学校のあり方につ
いて考える会が、平成27年
度に実施したアンケート結

果で、開聞・山川地域の多
くの方が「学校再編は必要」
と考えており、再編の対象
校・形態は「小・中学校と
もに再編が必要で、小中一
貫校を望んでいる」と報告
しています。

問 開聞岳一周道路は、どの
ような計画になっているの
か。

答 現在、協議中です。

問 かいもん荘跡地に宿泊施
設ができたなら、現在使っ
ている駐車場（レジャーセン
ター前）はどうなるのか。

答 レジャーセンターに隣接
する駐車場は、レジャーセ
ンター利用者専用になり、
前面道路の前の駐車場（砂
利の駐車場）が宿泊施設利
用者の専用になります。ま
た、レジャーセンター東側
にある駐車場は共用にな
ります。

問 昨年度起きた介護保険料
の誤徴収の処理の仕方は、
適切だったのか。

答 事後処理としては適正で
あり、二重チェック体制を

整えるなど、再発防止に努
力しているとのこと。議
会としても今後、2度と
このようなことが起きない
よう注視していきます。

問 海岸整備について、県の
補助が40億円と言われたが、
残りの80億円は市が持つ
のか。

答 指宿港海岸整備事業は、
国の直轄事業であり、市の
持ち出しはありません。

問 西郷どん館の建設費用は、
どれぐらいを考えているか。

答 今回の西郷どん館は、新
たな施設を造るのではなく、
時遊館COCCOはしむれ
内に設置をする予定です。

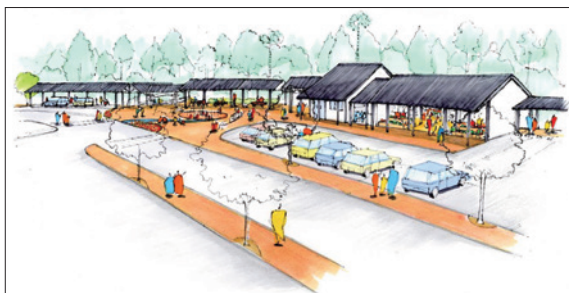
問 古い市営住宅の改修、建
て替えはどうなっているか。
現在、市営敷領団地の建
て替えが計画されています。

問 唐船峡の計画を、もっと
具体的に知りたい。

答 平成28年度に市が策定し
た「唐船峡周辺整備計画」
を基に、県の魅力ある観光
地づくり事業の活用につい



唐船峡周辺整備事業計画区域全景



唐船峡バス停歩道からエントランス広場を望む

て県と協議中です（基本計
画の詳細については、市ホ
ームページで確認できま
す）。

サッカー場整備について

- 反対派の議員に、なぜ反対なのか説明してほしい。新たな事業を考えているのか。
- 市民の6割は賛成なのに、議員は反対の場合、どちらを声とするのか。
- 市民の声として、署名・陳情書も出ている。市民の声をどうやって聴くのか。
- 造るのは良いが、後々負担にならないように。
- 検討委員会提言に基づいた整備が必要である。単にサッカーができるだけでは大勢の観客が来るような大きな大会も開催できず、市の活性化につながらない。
- サッカー場は、造った方が良い。
- 市民のための施設になっていくのか不安。
- サッカー合宿のための施設は必要だと思う。スポーツ交流人口を増やし、財政面もプラスに。
- Jリーグ(プロチーム)が使えるサッカー場なら、指宿のサッカープレイヤーはもちろん、県外から熱狂的なファンが大勢訪れることとなり、指宿の観光業の発展につながるものと思う。
- 人口が減るのに、サッカー場は必要ないと思う。
- 他地区との競争に、指宿は勝てるのか。
- 次世代を担う子どもたちのため、観光経済活性化のためにも適正規模のサッカー場が望ましい。中途半端な施設では、その効果は望めないと思う。
- 25億円は掛かり過ぎ。
- 東京オリンピック・パラリンピック、かごしま国体の何をどのように見据えているのか。
- サッカー場を造ってほしい。体育館も良くしてほしい。今、試合に行くのは吹上、東市来、串木野が主である。朝早く出発し夜遅く帰ってくることもある。近場にサッカー場があれば、たくさんの人がサッカーの試合に来て、指宿も何らかの需要があると思う。
- グラウンドを造った場合、相乗効果がどれくらいあるのか。
- 他市がグラウンドを造った場合、指宿は端にあり、地理的に不利なのではないか。
- 今後の市のビジョンが明確に示されている。多くの市民の声を聴いて実行に移してほしい。
- サッカー場建設は賛成であるが、その規模についても検討すべきである。
- ヘルシーランドの二の舞にならないような計画にしてもらいたい。
- 多目的グラウンドは結構だが、そこまで出掛けて市民が利用するのか。朝夕健康のために利用できる場所へ。
- 地熱の売電収入を、サッカー場維持費に回したらいい。
- 他市が造るグラウンドとの違いは。
- 維持管理費について、市の計画どおりにできるのか。
- 多目的グラウンドとなのはな館は、同じようになるのではないか。
- グラウンドの利用料は発生するのか。
- プロの試合が見られるのか。
- 宿泊施設も近く、県内になり条件の良さ。
- 建設費用のみが示されているが、維持管理費については、言及されていないのでは。
- 維持管理は大変そう。なのはな館のようにならないか心配。
- 市町合併後、開闢地域は寂しくなっている。指宿ではなく開闢に造ってもらいたい。
- 財源はもちろん大切だが、積極的にサッカー事業を進めてほしい。
- 子どもたちがここまで市政に参加した案件はなかったと思う。子どもたちが夢を持てるまちづくりをお願いしたい。
- スタンドの屋根を取り消せばよし。
- 今回、注目のサッカー場建設の案件があり、サッカー少年が多数参加した。良いことだと思う。
- サッカーグラウンドが市民のためなら、もっと少ない予算で行った方が良くと思う。
- プロを呼んで観光に生かしたいなら、そのようにすればいい。つまり、今の計画だとあいまいだと思う。
- 一流のサッカー場を造り、芝も一流の手入れをして、世界中のサッカー選手が来るようにしてほしい。指宿のホテルがにぎわうと思う。
- 市民(特に子ども)が使えるのは良いことだ。
- どうせ造るなら、基本構想に掲げている規模の方がいいと思う。小さなサッカー場でも財政負担は起きる。
- 指宿は、国体時にサッカーで参加できますか。
- 指宿からJリーグの選手を出したい。
- 指宿にはプロのチームも合宿に来るので、最高のピッチで練習してもらおうためのサッカー場が必要。
- サッカー場を指宿市に造ってほしい。そうすれば大きな大会なども増えて、指宿市に来る人も増えると思う。中学校サッカー部も試合だけでなく、練習試合もできるし、他の中学校との交流も増えると思う。
- 予算が高いので、もう少し抑えることができないのか。

新交通体系構築事業について

- 高齢化社会になっていく中では必要である。
- 停留場の看板を、倒れないようにしてほしい。
- 現状が不明瞭なため、何が不都合か分からない。
- 手を挙げたら、止まって乗せてくれるバスを希望。
- 市内を循環する路線、停車の仕方など具体的な案を知りたい。
- 子どもたちも乗ることがあるので、安心に、できるだけ安く乗れるようにしてほしい。
- 市内の循環バスを、もっと増やしてほしい。
- 循環バスの利便性を、使っている人の声で進化させてほしい。高齢者、子ども等、交通弱者が困らないように。
- バス運行時間の間隔が長すぎる。買い物でも半日仕事になってしまう。運行手段の新手も考えてはどうか。
- 観光地なのに、外国人対応のものが少なすぎる。
- 必要な年配の方の意見を、もっと聴いたらいいのに。
- 市民、特に高齢者のための交通アクセスは必要。民間

のタクシーも利用すべき。

- 小型バスを導入して、集落内の幹線を走行してほしい。
- 循環バスは、高齢者にとつととても大切(免許返納の推進にもなる)。増やしてほしい。
- 各集落内を通る(以前は通っていた)10人乗りの普通自動車で便を朝夕利用しやすくしてほしい。家用車を利用して運行することはできないか。(白タク運行、玄關から利用先まで)
- 日本一のため箱温泉を抱えているのにシャトルバスがない。山川駅から温泉に行く人の人数に応じて車を出せないか。
- 不便な所を通るのは良いが、財政負担に耐えられるか。
- 店が少なく買い物に困っている方が多いので、早く運行できるように底床車を。
- 市民がどこの地域からでも病院や買い物に行くことができるようにしてほしい。
- 幹線道、役所周辺だけ開発されているようだが、外周部にも目を向けてほしい。

新ごみ処理施設およびごみ減量化について

- ごみ減量は、市民の務めだと思ふ。
- 施設が長く使用できるように一人ひとりが努力し、ごみの減量化を。
- ごみの発生量を、1割削減しなければならぬのとこと。大崎町など先進的な取り組みをやっている所を参考にできないか。
- 新聞報道は、どういったことなのか。一般競争入札に關し、資格のない業者が落札したということだが、分かりやすい説明を市民にするべきだと思う。
- ごみ袋は、もっと安くならないか。
- 道路上のごみステーションの改善。
- 生ごみのひと絞り運動をしてほしい。漬物をつけるような器具に穴を開けて、重しで絞るのはどうか。
- ごみの減量について、議員の協力が足りない。
- 剪定した枝など、どうにかならないか。自分で燃やしたり。
- 資源ごみに対する市民の意

識が低いと思ふ。

- 資源ごみを増加させ、燃えるごみの減少を図るため、燃えるごみ袋の値上げ。資源ごみ袋代の無料化。
- 事業系のごみの処理について、減量化を進めるため強力に依頼すべきである。
- 生ごみ処理機器の導入で、市の補助金が40%との話を聞いている。もっとアピールをしてほしい。
- ごみ袋代の値上げは困る。他の方法を考えてほしい。
- 資源ごみの仕分けはしっかりと。燃えるごみにたくさん混ざっている。
- 資源ごみの中で、プラスチックのみが有料袋となっている。
- ごみ分別を徹底するためのシステムを進める。
- 服等のリサイクルショップを増やせないか。
- 生ごみがなかなか減らないように聞かすが、どうなっているのか。
- ごみを少なくするには発生場所を少なくすること。メーカーや販売所への相談が必要。
- 生ごみの水分を十分に切る

方法を、市民に考えさせてはどうか。

その他

- 開発公社の所有地を行政が買い、解散を。
- 議会は何かのための議会か。
- 希望のない指宿。市民の声が聞こえるか。
- 人口が増える何かを考えてほしい。
- 県から市へ権限が移り、市職員の専門性が必要となっているが、1〜3年で部署や部署内での職務の異動があるのはなぜか。
- 学校再編は、地域の意見を十分くんで検討してほしい。
- 国営のアパートを、もっと有効活用できないか。
- 説明会といえば、市民は決まったことと思ってしまう。もっと準備・検討が必要。
- 開閉庁舎に食堂を造ってほしい(子ども食堂)。
- 市民の負託に答えてもらいたい。
- 人口は減っている。予算も減るのか。
- そうめん流しの看板が少ない。
- もっと地域住民の意見を吸い上げてほしい。